

2021年11月3日

消化器内科に、過去に通院・入院された患者さんへ  
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号)の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありません。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名] 主要脈管侵襲を伴う切除不能進行肝細胞癌患者に対する分子標的治療薬と三次元原体照射併用リザーバー肝動注療法の治療効果を調べる後ろ向き研究

[研究機関の長] 香川大学医学部長

[研究責任者名・所属] 香川大学医学部 消化器・神経内科学 助教 谷 丈二

[研究の目的]

主要脈管侵襲を伴う切除不能進行肝細胞癌患者さんの、性別、年齢、合併症、血液データ、治療内容、治療結果などについて調査することで主要脈管侵襲を伴う切除不能進行肝細胞癌に対する分子標的治療または三次元原体併用リザーバー肝動注の有効性、有害事象を明らかにすることについて調べること。

[研究の方法]

対象となる患者さん

2009年1月1日から2021年12月31日の間に、当院及び下記研究組織で主要脈管侵襲を伴う切除不能進行肝細胞癌と診断され、脈管侵襲部位に対する三次元原体照射法併用リザーバー肝動注または分子標的治療を施行した方

利用する検体・診療情報

診療情報：年齢、性別、Child-Pugh スコア、肝障害度、ALBI スコア、病期、成因、腫瘍数、腫瘍径、腫瘍の肉眼型、腫瘍の局在、腫瘍マーカー、併用療法の有無、全生存期間、腫瘍制御率及び奏効率、副作用の有無

[外部からの診療情報の提供]

利用する外部施設所持の診療情報等は、患者さん個人が特定できない状態とし、郵送を使用して、下記の研究組織より本学へ提供されます。

[研究組織]

<研究機関及び研究責任者>

香川大学医学部 消化器・神経内科学 助教 谷 丈二

<既存情報の提供のみを行う施設およびその施設の提供責任者>

香川県立中央病院 肝臓内科 副院長高口浩一

高松赤十字病院 消化器内科 副部長 小川力

香川労災病院 消化器内科 部長 出口章広

聖マルチン病院 消化器内科 部長 米山弘人

三豊総合病院 消化器内科 部長 守屋昭男

屋島総合病院 内科 部長 坂本鉄平

徳島大学病院 消化器内科 助教 友成哲

高知大学病院 消化器内科 講師 廣瀬亨  
愛媛県立中央病院 消化器内科 部長 平岡淳

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部 消化器・神経内科学 助教 谷 丈二

電話 087-891-2156 FAX 087-891-2158